

林業普及週間現地情報(12/5～12/11)

森林管理課

伐木作業時における労働災害防止のための集団指導 12月10日(金)

令和3年12月10日、名護市宇茂佐公民館において、林業・木材製造業労働災害防止協会沖縄県支部主催で、森林整備を行う市町村職員や森林組合職員等を対象に「令和3年度伐木作業時における労働災害防止のための特別活動」集団指導会（以下「指導会」という。）が開催された。

本指導会は、厚生労働省が策定した「第13次労働災害防止計画（平成30年度～令和4年度）」に基づき、同省が平成30年度から全国的に実施しているもので、実施に当たっては、林業・木材製造業労働災害防止協会の安全管理士等による指導と併せて、林野庁と連携し、林業普及指導員等による伐木等作業の安全対策を推進することとされている。

指導会には、国、県、市町村、森林組合等の関係者約70名が参加した。県林業普及指導員からは、「沖縄県における林業労働災害防止の取り組み」と題して、全国的な森林・林業の動向、沖縄県内の林業労働災害の状況、労働災害防止のための取り組み内容等について指導を行った。

本県では、直近の10年間は林業労働災害における死亡事例は発生しておらず、また、死亡以外の労働災害の発生件数も少数で推移している。今後も関係機関と連携しながら林業労働災害防止に向けた取り組みを継続し、発生件数ゼロを目指していきたい。



(報告者：森林管理課 比嘉)